

いじめをなくすために

全国でいじめ問題が深刻な社会問題となるなか、別府市でも問題となりました。猿渡（えんど）久子市議は、9月市議会一般質問でいじめをなくすための取り組みについて質問しました。

教訓をどう活かすか

えんど久子市議は、「真剣に取り組まなければならぬ問題だ。教育委員会として教訓をどう活かそうとしているのか」と質問。

学校教育課長は「大変ご迷惑とご心配をおかけしました。①軽微な段階で芽を摘むことが大切で、人間関係が

見えやすい休み時間に見守ることも必要。②

小さないじめの段階で教師や保護者などに訴えることができる信頼

関係を作ること。③いじめは絶対許されないことを心より感じさせる道徳・人権教育の推進」の3点をあげました。

相談員が効果的

また、「年3回のアンケート調査や個人面談、日常の中で兆候を早期発見するよう努めている。スクールカウンセラーや、スクール

サポーター（教育センターに7人配置）などの身近な相談員の配置が効果的だった」と答弁しました。

相談員や教員の増員を

えんど久子市議は、パネル（裏面のグラフ）を示し「アンケート結果でも35人学級の効果が明らかだ。いじめをなくすためにも、少人数学級など教員の増員を県や国に働きかけるべき。スクールサポーターの先生（市独自で配置）は『ひとり3〜4校を担当し、週1回しかこの学校に来られない。回数を増やし日々サポートできれば表情の変化などから丁寧に関われる』と話していた。スクールカウンセラーの増員や待遇改善に努力すべき。教育委員会・学校・家庭・地域が力を合わせて取り組むべき」と、教育長や市長の見解を求めました。



赤まんま

教育長・市長ともに「ご心配をおかけしました。30人学級や教員増員についてこれまでも強く要望してきましたが、引き続き県や国に要望していきたい。スクールサポーターの増員にも努めたい。国の動きに期待している。別府市としても積極的な取り組みをしていきたい」と答弁しました。

日本共産党別府市議団のHPやえんど久子のHP「はっぴーえんどとねっと」をぜひご覧下さい。別府市議会のHPでは市議会の録画や議事録が見られます。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

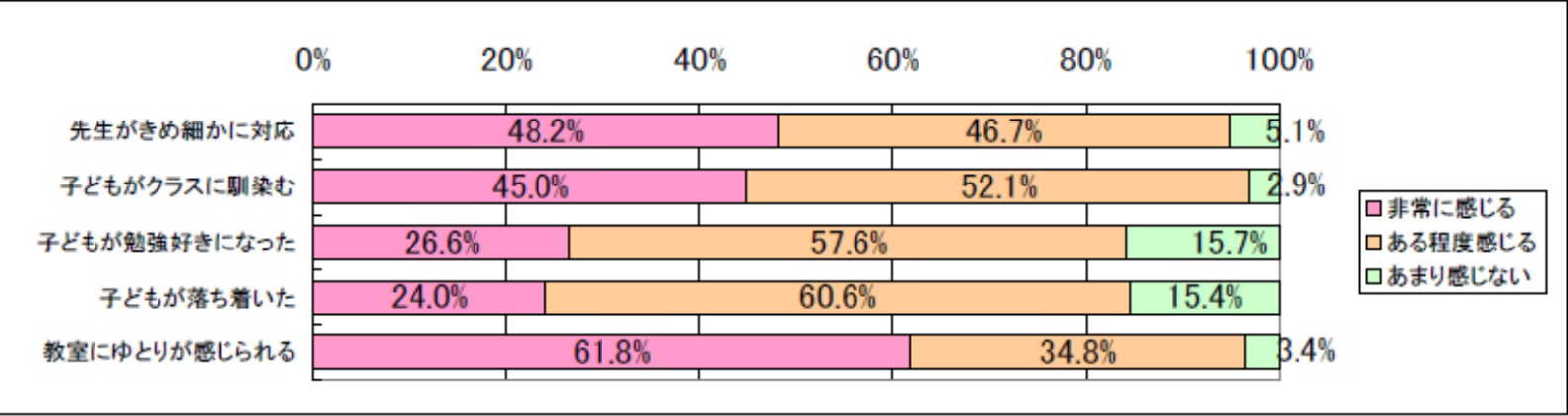
発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.530
2012. 10. 16.

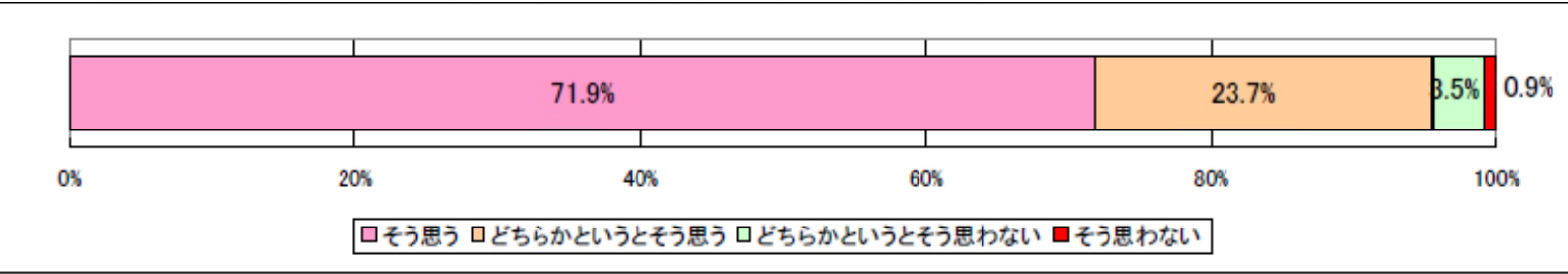
小学校1年生の35人学級実施に係る教育効果等アンケート〈保護者用〉

回答数: 891

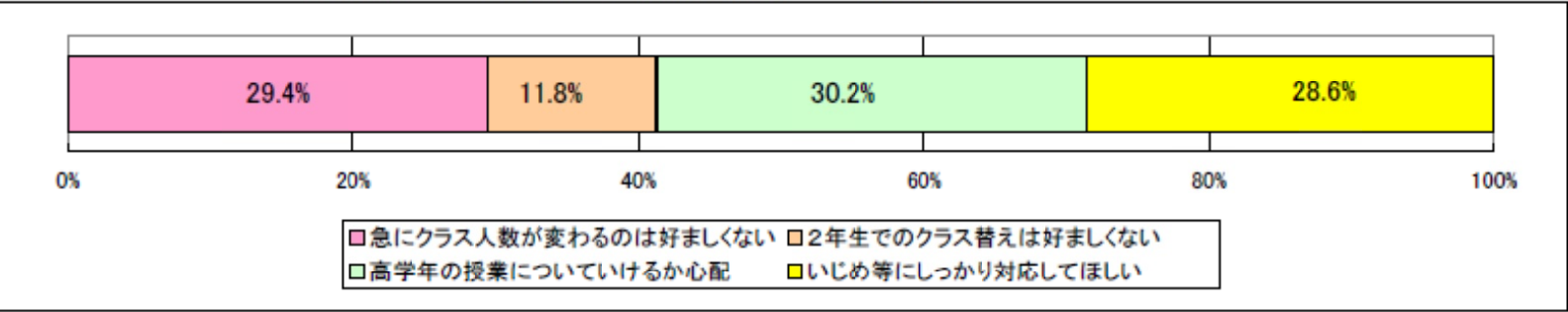
1. 小学校1年生の35人以下学級実施の効果



2-1. 今後、2年生以上の35人以下学級を進める必要があると思うか



2-2. 今後、2年生以上の35人以下学級を進める必要があると思う理由
(上記2-1で「そう思う」、「どちらかというと思う」を回答した者)



1. 調査の概要

- 調査対象県：8 県
(栃木県、福井県、静岡県、岡山県、香川県、東京都、千葉県、和歌山県)
※平成22年度に小学校1年生の35人以下学級を実施していなかった県
- 調査対象校：122校
従来の県の基準によると36人以上の学級となるが、今回の法改正を踏まえた県基準の改正により、平成23年度から小学校1年生が35人以下学級となった学校を任意に抽出

